

第8回 近畿古希軟式野球大会

大会細則及び競技運営に関する取り決め事項

1. 出場チームは必ず試合開始予定時刻の1時間前迄に球場に到着していること。
2. 試合開始時刻までに何の連絡も無くチームが到着しない時は、棄権したものとみなして処理する。
3. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。但し、試合が連続の場合はベンチ移動せず、対戦チームは空き側ベンチに入ること。
4. 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前迄に、その他の試合については、前の試合の4回終了迄に、それぞれ主将が打順表6部を大会本部に提出し、登録原簿との照合を受けた後、審判員立会いのうえ攻守を決定する。打順表は本部で用意する。
5. シートノックは行わない。但し、試合前の練習については球場責任者の指示に従うこと。
また、次試合のバッテリーは4回以降、球場内の所定の場所にて、審判員の指示により投球練習を認める。
6. ベンチ入りできる者は、ユニホームを着用した監督・選手。他に代表者、マネージャー及び記録員各1名とする。ユニフォーム着用者以外はグラウンドに出ることはできない。
7. 日没、降雨その他の理由によって、審判員が試合の続行不可能と認めた時点で、すでに5回を完了している場合には、それまでの得点によって勝敗を決する。
但し、同点の場合、または5回を完了していない場合は、同一条件で試合が決着するまで特別継続試合とする。また、特別継続試合は翌日の第一試合に先立って行う。
8. 危険防止の為、打者・走者・次打者・ベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。
9. 捕手については、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガースとファールカップを着用のこと。
また、攻守交替時の投手を補佐する選手もマスクを必ず着用すること。
10. バットは連盟公認のJ.S.B.Bマークのついたものに限る。
11. サングラスは認めるが、ミラーレンズは禁止する。尚、投手の使用は試合前に相手チームと審判の了解を得ること。
12. グラウンド内のファールボール球は、両チームベンチサイドで処理する事。
13. 攻守交代時に、最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻る。
14. 球場毎のローカルルールについては審判員の指示に従うこと。
15. 雨天の場合でも大会本部より連絡のないかぎり試合は行う。
16. 試合中に雷が発生した場合は、直ちに試合を中止して全員安全場所に退避し、気象状況を把握・判断して再開等を本部で決定する。
17. 雨天の試合中止連絡
早朝雨天の場合は午前6時から、第1試合チーム順に各連絡責任者あて、大会本部から連絡する。
その他の場合は、大会本部にて天候状況等を判断して随時当該チームに連絡する。